

＜問いかけられた信仰＞

マルコ5：35～43

12年間長血を患う女性

「あなたの信仰があなたを直した(救った)」

義人は信仰によって生きる。ローマ1：17

信仰によって生きるってどんなことなのか・・・？

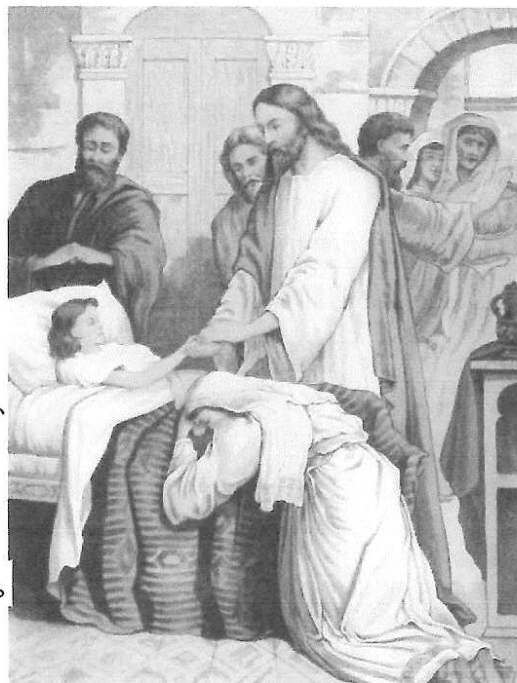
かつて、バビロン帝国により国が崩壊！ありえない
現実に民は信仰を失った。しかしその中でわずかな者が、
なお神に信頼し希望をおいた者達。

→「信仰によって生きる」

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。
—主の御告げ—それはわざわざではなくて、平安を与える計画で
あり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。……

わたしは、あなたがたの繁栄を元どおりにし、わたしがあなたがたを追い散らした先のすべての国々と、すべての
の場所から、あなたがたを集める。 —主の御告げ— わたしはあなたがたを引いて行った先から、あなたが
たをもとの所へ帰らせる。

エレミヤ29：11～14



◆自分の常識の枠で神を捉えると、「等身大」の神は明らかにならず、その神は小さくなる。

1、瀬戸際に立たされたヤイロの信仰

死にかけている娘に手を置いて直る(救われる)ように助けてほしい！

イエス様はヤイロの願いを聞き入れてくださったが、その途上足止めが…

恐れていた事が！ 「あなたのお嬢さんはなくなりました。」

「なぜこのうえ先生をわずらわすことがあるでしょう。」

イエスさまはもう必要がない？！

2、初めの信仰にとどまる

◆ 信仰の一步を踏み出したヤイロ。しかし、まわりの人の現実的な判断に
信仰が揺さぶられた。

イエスさま 「恐れなくて、ただ信じていなさい」

初めの信仰に留まりなさい！

「なすすべは何もない」ということばに惑わされてはならない！

それによって恐れを心に迎えてはならない。

「なぜこのうえ先生をわずらわすことがあるでしょう。」

救いの可能性を自分から閉じてしまっている。

3、親の信仰が我が子を救いに導く

- ◆信仰をもってやって来たヤイロの娘を直す(救う)いやすために、イエス様は一緒に向かわれた。初めから目的は決まっていた。それはどんなことがあっても覆らない。

ヤイロがイエスさまを家に案内することをやめていたら・・・

娘はどうなっていたのだろうか。

信仰・・・自分が信じている神が「どれほど偉大な方」であるかを、どれだけ知っているか、信じているか。

「どれほど偉大な方」は、「どれほど愛なる方」に置き換えられる。

- ◆どれ程神が愛しておられるかを知ることが、私たちの信仰に表れる。

「何をしてくれるのか」ではなく、「どれほど愛してくれているのか」を知る。